

入学式式辞

先ほど紹介された 96 名の新入生を、新しく本学の一員として迎えることになりました。新入生の皆様には、京都医療科学大学の全教職員を代表して、改めて歓迎の言葉を申し上げます。新入生以上に、ご両親、ご家族の方々には心よりお慶び申し上げます。

今日は好天に恵まれ、桜も満開となっておりますが、皆様の心の中もうれしさ一杯の満開となっておりますでしょうか？ 多分、新しい大学生活への期待が半分、うまく大学生活を送れるだろうかという、不安半分ではないでしょうか。

本学は創立 91 年目を迎えた、日本で一番古い診療放射線技師の養成校ですが、昨年創立 90 周年を記念して、新しい校舎が完成しましたので、出来たばかりの新しい校舎で学ぶことができます。 念願だった学生食堂もオープンしました。

島津製作所からの寄付金によって、新しく島津奨学金が設けられましたが、入学式に先立ってその表彰式が行われ、各学年で成績の優れた 9 名、合計 27 名に、返済不要な奨学金 40 万円が授与されました。成績がクラスで 9 番以内に入ることを目指して、一生懸命勉

学に励んでください。皆様は本当に良いタイミングで、本学に入学されたと思います。

4年間本学で勉学した後、ほとんどの人は病院で働きます。現在の最先端医療には、皆様の仕事である X 線撮影、X 線 CT, MRI、PET などの画像診断、がんの放射線治療が不可欠となっています。

病院に来るのは病に苦しむ病気の人々で、患者様が相手です。

仕事をする際には、患者に易しい人柄がとても大切になってきます。大学では技術的なこと、専門的なことだけでなく、国語、英語などの語学、文学。コミュニケーション、経済学、倫理学など一般教養も学びます。これらは仕事と無関係に見えるかもしれませんが、毎日の仕事、人間の成長にはこれら一般教養が欠かせません。どのような仕事であれ、必ずその人の性格、その人の人間性が表れます。

時代はどんどん進んでいます。皆様はこれから 50 年間仕事するのですが、50 年後の医療が、50 年後の日本が、50 年後の社会がどうなっているか、誰にも予測できません。進歩する医療科学技術に対応するには、自分で一生懸命調べ、自分で主体的に勉強する姿勢を身につける必要があります。この自主的に勉強するところが、高校と大学との違いです。大学では「自分で常に学び続ける」という、

習慣を養いましょう。そして「変化に対応できる知性」、「混沌とした時代、新しい時代に対応できる能力」を身につけてください。

本学は創設以来 91 年という長い歴史がありますので、多くの優秀な先輩が全国各地におられ、本学の同窓会組織、学友会の支部が全国にあります。この長い伝統、多くの先輩が本学の財産です。先輩の築いてきた良い伝統を、新入生の皆様がさらに発展させ、より良い素晴らしい大学にしなければなりません。

本学の建学の精神は、創立以来

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成する」です。

皆様が品性に優れた、優秀な技術者になるように指導することが我々教員、職員の使命と考えています。

4 年間の大学生活では、よく学び、よく遊び、そして多くの生涯の友を作ってください。新入生の皆様が、実り多い楽しい 4 年間の学生生活をおくることができると確信しています。

平成 30 年 4 月 1 日
学校法人島津学園
京都医療科学大学
学長 遠藤 啓吾